

平成 21 年 6 月 23 日

日本技術士会 原子力・放射線部会 第 5 回総会  
議事録

1. 開催日時：平成 21 年 6 月 19 日（金）14:00～15:30
2. 開催場所：日本技術士会 葺手第 2 ビル 5 階 A・B 会議室
3. 出席者：別紙参照（出席者総数：37 名、議決時出席者数：34 名）
4. 配付資料
  - （社）日本技術士会 原子力・放射線部会 第 5 回総会 議事次第
  - 資料 1：原子力・放射線部会 平成 20 年度事業報告
  - 資料 2：原子力・放射線部会 平成 21 年度事業計画
  - 資料 3：原子力・放射線部会 平成 20 年度収支決算書
  - 資料 4：原子力・放射線部会 平成 21 年度収支予算書
  - 平成 20 年度役員紹介
  - 平成 20 年度事業報告及び平成 21 年度事業計画（PPT 資料）
  - 平成 20 年度収支決算書及び平成 21 年度収支予算書（PPT 資料）

5. 議事内容

(1) 開会宣言

原子力・放射線部会第 5 回総会が進行役の青木総務幹事からの宣言により開会された。

(2) 来賓祝辞

来賓の日本技術士会高木専務理事から、以下のような主旨の祝辞をいただいた。

—原子力・放射線部会の活動は昨年 2 回の柏崎刈羽原子力発電所調査団による調査をはじめとして、活動が極めて意欲的である。規制的視点だけではなく、市民の目線で捉えている点が評価される。原子力では地元が大切であり、技術士会はこのような形でメッセージを発信することが大切である。

原子力に対する国民からの注目度は相変わらず高い。石油の価格が高騰すれば、原子力の存在感は増す。日本の存在感を高めるためにも原子力は大切である。そのような状況でもあり、今後の原子力・放射線部会の技術士の活動にも期待したい。

### (3) 部会長挨拶

次に、林部会長から、平成 20 年度の原子力・放射線部会の活動の概況報告と今後に向けての決意表明も兼ねて、以下の主旨の挨拶がなされた。

－原子力・放射線部会は設立 5 周年を迎えることができた。

当部会の活動の大きな柱は次の 3 点とこれを内外に知っていただく広報活動である。

① 制度活用

② 技術士数確保

③ 継続研鑽

5 回の試験で現在の技術士数は 309 人となった。部会設立前にフジサンケイビジネスアイ紙に 5 年間で 1000 人の会員に増強すると宣言したが、目標まではまだ遠いと言わざるを得ない。技術士数が少ないと、制度活用も難しくなる。原子力・放射線技術者数は約 4 万人と言われている。極力早期に原子力技術者数に占める技術士数の比率を高めていく必要がある。当面の目標 2.5% (1000 人) に向けての不断の努力を継続していくため、部会員の全面的な支援協力を期待したい。

### (4) 総会出席者・委任状数報告

進行役の青木幹事から、本総会の出席者数及び事前に受領している部会員からの委任状数について以下のように報告された。

部会員数：209名

出席者数： 34名

委任状数： 83名

合計：117名

以上から、総会成立のための条件である会員数の過半数（105名以上）の出席（委任含む）が得られたため、本総会は成立する旨、青木幹事から報告された。

### (5) 書記及び議事録署名人の選任

書記及び議事録署名人については、立候補者がいなかったため、進行役の青木幹事により、各々鳥飼幹事と浜崎幹事が指名され了承された。

### (6) 総会議事

#### i) 平成 20 年度事業報告及び平成 21 年度事業計画

原子力・放射線部会の伊藤幹事から昨年度事業報告と今年度の事業計画について、スライド及び配布資料 1～2 に基づいて報告が行われ、報告後、双方共満場一致で承認され

た。報告の要点を以下にまとめる。

① 平成 20 年度事業報告（資料 1）

i) 技術士制度活用具体化方策

技術士制度活用の具体化活動については、平成 20 年度は平成 19 年度に行った提言を具体化する年と位置付けられる。東北大北村名誉教授及び東大班目教授のご講演と意見交換を行い、これを契機に原子力法制検討等にも実質的に参画することになった（東大原子力法制研究会及び原子力学会安全部会）。これらに対応するため、部会内に「制度活用 WG」を設置し、積極的な取り組みを図っているところである。

ii) 技術士数確保方策

最近、合格者数が伸び悩んでいることから、技術士数の確保に係る活動を、以下のように様々な機会を捉えて展開しているところである。

- 原子力 eye 誌 2008.12 月号特集記事「原子力と技術士-その制度利用の可能性」
- 雑誌等記事掲載：平成 20 年度中に原子力 eye 誌等に計 10 記事
- 受験者数拡大キャラバン：JNES 等
- 新技術士講習会
- 大学への PR、技術士会や学会との連携による受験者数増大
- 日本技術士会や原子力学会等との連携

iii) 継続研鑽

- 「技術士の夕べ」：5 回実施
- 他部会との共催講演会等：2 回（内 1 回は茨城地区新年会）
- 見学会：2 回（日本原燃六カ所及び JAEA 東海の NUCF）
- Web 研鑽：技術者倫理（まだ本格展開には至っていない）及び講演会視聴記録の掲載

iv) 広報活動

- 部会報発行：2 回（平成 20 年 9 月及び平成 21 年 3 月）
- 部会ホームページ：平成 20 年度の更新 8 回  
アクセス数 約 21,500 件（H21.3 末現在）
- 原子力学会ホームページの「原子力・放射線部門」技術士情報ページ：  
平成 20 年度の更新 6 回  
アクセス数 約 39,900 件（H18.6.1～H21.3 末現在）
- メーリングリスト：技術士会同報メール／部会員 ML／役員会 ML／広

#### 報役員 ML

- － 共有データストレージ：iTrusteeにより部会（運営）情報を共有化
- － 対外広報：
  - ・技術士制度と部会活動紹介（雑誌、学会誌等）
  - ・応援者（有識者）リストの作成と広報や活動状況等の配信

#### v) その他

- － 部会の幹事による技術士会活動の参画（理事会、部会長会議、政策委員会、倫理委員会）
- － 柏崎刈羽原子力発電所復旧状況調査：2回調査
- － 「部会員技術分野マップ」作成
- － 技術士制度提言ロードマップのアクションプラン検討
- － 意見発信プロジェクト：「制御棒引き抜け事象」を基に具体的訓練検討
- － 茨城地区会員の新年交流会開催（27名参加）

#### ② 平成 21 年度事業計画（資料 2）

伊藤幹事から、引き続き平成 21 年度の事業計画案についての報告があった。本年度の活動では、平成 20 年度事業を継続しつつ、具体化すべきはして、意欲的に展開していくこととし、特に、今年度は部会発足 5 周年に当たる年であり、以下のような記念事業を実施するとの計画も明らかにされた。

- － 記念特別講演会（本総会と併催）：  
「安全余裕と継続的な改善」岡本 東京大学大学院教授
- － 部会報の記念特集号発行
- － 関西地区での例会講演会の開催の検討

最後に、総会に出席した部会員に対して、技術士受験や技術士会会員（合格者向け）への勧誘や、CPD 認定会員及び APEC エンジニア登録申請を積極的に行うよう要請して報告が締め括られた。

報告後に本事業計画案は満場一致で可決された。

#### (7) 平成 20 年度決算報告及び平成 21 年度予算計画（資料 3&4）

阿部幹事から、平成 20 年度決算及び平成 21 年度の予算計画案についての報告がスライド及び配布資料 3 及び 4 に基づき行われた。

報告後、寄付金の内訳（部会員からの原稿料の寄付）及び技術士会からの補助金（10 万円の枠内で平成 20 年度の使用実績 76,516 円）についての補足説明要請があり、その後

昨年度決算と本年度予算案について満場一致で可決された。

(8) 部会長選出

本年度は、部会長の任期の年に当たっているため、本総会で部会長選出が実施された。総会に出席している部会員から林克己部会長の再任の提案があり、この提案が満場一致で可決され、林克己氏に今期も部会長を引き続き務めて頂くことが決定した。

(9) 平成 21 年度幹事紹介

平成 21 年度から以下の 5 名の新幹事が加わることになり、林部会長から紹介が行われた(以下敬称略、五十音順)。

伊藤 元 (電源開発)

岡村 章 (電源開発)

佐々木 聡 (日本原子力研究開発機構)

鈴木 麻純 (アトックス)

高橋 一智 (高エネルギー加速器研究機構)

以上

-----  
この議事録は、議事内容に相違ないことを確認しました。

平成 21 年 7 月 13 日

議事録署名人

渡崎 学

印



## 原子力・放射線部会 第5回総会 出席者リスト(総会終了時)

No.	氏名	技術部門
	(来賓)	
1	高木 譲一	(社)日本技術士会 専務理事
	(部会員)	
1	青木照美	原子力・放射線
2	阿部定好	原子力・放射線
3	市川禎和	原子力・放射線、建設、総合技術監理
4	伊藤晴夫	原子力・放射線、電気電子
5	今本信雄	原子力・放射線
6	内田剛志	原子力・放射線
7	岡村章	原子力・放射線
8	岡本幸治	原子力・放射線
9	神村典浩	原子力・放射線、建設
10	神田僚司	原子力・放射線
11	桑江良明	原子力・放射線、電気電子
12	金野朋博	原子力・放射線
13	坂井彰	原子力・放射線
14	佐川渉	原子力・放射線、機械、総合技術監理
15	佐々木聡	原子力・放射線
16	早苗勝	原子力・放射線、電気電子
17	嶋田昭一郎	原子力・放射線
18	白川正広	原子力・放射線
19	菅原聡	原子力・放射線、機械
20	杉原豊	原子力・放射線、建設、総合技術監理
21	園田幸夫	原子力・放射線
22	高橋一智	原子力・放射線
23	高橋聡	原子力・放射線
24	鳥飼誠之	原子力・放射線、衛生工学、情報工学、総合技術監理
25	長澤克己	原子力・放射線、衛生工学
26	永嶋國雄	原子力・放射線
27	中野智仁	原子力・放射線、総合技術監理
28	成川薫	原子力・放射線、機械、総合技術監理
29	西村章	原子力・放射線
30	畑孝也	原子力・放射線
31	浜崎学	原子力・放射線
32	林克己	原子力・放射線、応用理学、総合技術監理
33	久持康平	原子力・放射線、総合技術監理
34	藤本望	原子力・放射線
35	村上督	原子力・放射線、衛生工学
36	横井新	原子力・放射線
37	鈴木麻純	原子力・放射線